(財)伏木富山港・海王丸財団

舵輪

第１２６号
２０１１年　７月発行

舵輪は(財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

退任の挨拶

総務課長　稲場　実

あいの風に吹かれ、財団岸壁へ着岸して３年。とうとうタグボート「雷鳥」に押され、出港する日を迎えることになりました。
あっという間の出来事でした。関係者の皆さん、いつも海王丸に暖かいご声援ありがとうございます。感謝しております。
特に、ボランティアの皆さん、海王丸の帆を年に 10 回もひろげていただき、本当にありがとうございます。私は幸運にも立場がら、展帆作業をしている間近の特等席で拝見させていただいておりました。（固唾を飲んで見守っているとき、乗船予定のお客さんを整列させているときなどいろいろなところで見る場面がありましたが、展帆作業はどんな映画よりも感動的でした。）その重労働、危険を伴う作業に対しまして、心から深く感謝申しあげます。
海王丸と言えば、やっぱり　「総帆展帆！」　ですよね。繰り返しになりますが・・・。
平成２１年は８年ぶりの新しい帆での展帆でした。そのおろしたてのシャツのような帆をひろげた姿は、本当に海に浮かぶ貴婦人のようであり、白鳥（これは日本丸の代名詞ですが、海王丸も白鳥ですよね。）のようでもあり、華麗で優雅な、例えようのない美しいものでした。（ＭＹボロデジカメのシャッターボタンを何度押したかわかりません。）
自分の人生において、帆船海王丸、海王丸パーク（バードパーク、マリーナを含みます。）が赴任先だったことを本当に幸運だったと思っております。（毎日、おくしい花や船やかわいい鳥が見られて、最高の職場環境でした。）
また、皆さんからいろいろなことを伝授していただきました。これからも関わっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

追伸）新海王丸とのＷ展帆を見られなかったことが唯一の心残りです。新海王丸の皆さん、富山新港にまたお越しください。（もちろん新日本丸もです。）

総務課主任
明野　賢一郎

この度の人事異動で、財団を離れることになりました。
私が着任した平成２１年度は、海王丸の帆を８年ぶりに新調した年で、はじめて総帆展帆した海王丸がまばゆいばかりに輝いていたのをよく憶えています。展帆作業を終えた乗組員や海王丸ボランティアの方々が、登舷礼をしてお客様から拍手を送られている姿も凛々しく、格好いいところに来たなというのが第一印象でした。しかし、新調した帆は乗組員とボランティアの方々の手作り、日々続けられる船体補修など、戦前の船とは思えない美しい姿を維持するために絶え間なく作業が行われていることを知ると、浮かれた気持ちが引き締まり、私も微力ながら貢献できればと思いました。
平成２２年度には、海王丸建造８０周年、海王丸乗船者数１５０万人を達成し、あらためて海王丸を支える皆様の努力と海王丸の人気の高さを思い知りました。
海洋教室に参加している児童の笑顔、海王丸パークに訪れる家族連れの楽しげな姿、これは海王丸無しではありえません。これからも海王丸が美しい姿でありつづけることができますよう、よろしくお願いいたします。
最後になりましたが、皆様のおかげをもちまして、充実した２年間をおくる事ができました。本当にありがとうございました。皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。

着任の挨拶

常務理事（船長）
中村　保博

このたび4月1日付で財団常務理事・海王丸船長となりました中村 保博です。前任者と御同様よろしくお願いします。
生まれは東京都で、その後父親の郷里山形に疎開し、高校を終えるまでそこで過ごしました。山懐深い山村でしたので、「水平線」や「海」に幼いころから強い憧れを抱いて育ちました。

東京オリンピック真最中の1964年東京商船大学を卒業し、航海訓練所で航海士として船員人生をスタートしました。その後各練習船に歴乗し、1982年一等航海士、1987年船長となり、2001年海上実歴28年陸勤・海外勤務等9年の官歴で退官しました。
私は実は学生・航海士・船長と全て日本丸という航海訓練所でも数少ない“日本丸派”です。退官後の勤務もやはり横浜の日本丸記念財団でした。その頃から母校（現東京海洋大学）の大学院で「海上法規」の講座を受け持ち客員教授として、将来一級水先人となるベテラン船長と若い大学院生達に私が持っている海技技術を伝承してきました。
今船長をしていますこの初代海王丸には、若い頃何年間も帆走競走でどうしても勝てなく若手航海士として悔しい思いをさせられました。
「昔のことはさておき、今を精一杯尽力させていただきますのでよろしくお願いします」と、毎朝海王丸神棚に祈っているところです。
海王丸も同じく、皆様の御協力・御支援をお願い申し上げ着任挨拶とさせていただきます。

総務課長　竹丸　譲

当初、重々しい辞令とは裏腹に、心は軽やかに、伏木富山港・海王丸財団に異動になったーと喜んでいた私でした。しかし、官公庁とは違う仕事の仕方にとてもびっくり。また、言葉がちんぷんかんぷん。ここでやっていけるのかなという気持ちが半分、先輩方も務めていたのだから、なんとか自分もなるだろうという気持ちが半分でしたが、現在、萎えそうな気持ちを奮い立たせながら日々過ごしております。
特に子供が小さい頃に海王丸パークには結構きた記憶があり、また、とても海王丸がきれいだなという印象がありました。家族からは、「いーなー、あそこで勤めるの」ともいわれました。自分は幸せ者だと思っておりました（なぜ過去形？）が、今は「行楽に行くのと勤務は違うからね」と声を大にして言いたいです。
ここでは、自分の知らなかったこと、やったことのない仕事がとても多く、慣れるのに大変な半面、すごく勉強になることが多々あります。何事も貴重な経験として、いろいろ教えてくださいますようお願いいたします。
また、海王丸の姿がとても美しい総帆展帆に胸をときめかせていますが、「ここに勤めている間は無理だからね。」という無情な言葉をききました。無理なら、（そうでなくても）これを機会として、長く海王丸とお付き合いさせてください。
県内の観光地はあまたありますが、海王丸パークは有名なところの一つです。
海王丸パークや射水市がますます発展するように、微力ではありますが力を尽くしていきたいと思いますので、ご支援、ご指導をいただきますようどうかよろしくお願いします。

総務課主事
吉住　逸雄

この４月に射水市から財団法人伏木富山港・海王丸財団に派遣されることになりました総務課主事の吉住です。
　私は、生まれも育ちも海王丸のお膝元射水市の新湊地区ということもあり、小さいころから海王丸パークには何度も足を運んだことがありました。小学校４年生のときには帆船海王丸での海洋教室も経験しましたが、まさかその２０年後に帆船海王丸を管理する伏木富山港・海王丸財団で働くことになるとは夢にも思いませんでした。
　着任以来、経験したことのない仕事も多く、戸惑うことも多々ありますが、帆船海王丸を間近に眺めながら、さわやかな潮風を頬に感じることができる素晴らしい職場環境のもと、しっかりと職務をこなしていきたいと思っています。
　総帆展帆を含む海王丸パークでのイベント開催日には天候に恵まれるように願いつつ、一人でも多くの方が海王丸パークを訪れ、帆船海王丸に乗船していただき、満足して帰っていただける環境づくりに努めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

業務技師　　原口　正一

このたび航海訓練所を退職し、海王丸財団に勤務することになりました、原口正一と申します。
不馴れな職場なので、皆さまには何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒、前任者同様よろしくお願いします。

技術員　　池田　州

北海道出身の池田 州です。
富山県の道にいつも迷い続けて、富山県の山々を見ていつも癒されています。
私は、ここへ来るまでは海王丸に乗船した経験はないので、船体整備の培われた伝統を覚えつつ、現在進行中の整備要領を出来るだけ早く身につけ、同僚に迷惑や負担をかけぬよう業務をしたいと考えております。
また、財団職員の皆さまとの連携も大切にしていきたく思います。
どうぞよろしくお願いします。

技術員　　尾形　章

みなさんこんにちは。
４月１日付けで着任しました、尾形　章です。よろしくお願いします。
今回で２回目の富山勤務となり、７年振り久々の富山の生活で、前回同様、毎日楽しく生活させていただいています。
海王丸は８１歳になり、船体はかなり病んでいて、前回よりも整備が一苦労のところがありますが、見学に来て下さる人達に、綺麗な海王丸を見てもらえるように、精一杯整備していきたいと思います。

４月～７月の行事結果

船体塗装工事

４月５日から１６日までの間、船体と係留鎖の塗装工事が行われました。業者はいかだを組み、うまく操作しながら船体外板を塗装していました。塗装後は真っ白な船体と、輝く“海王丸”の船名。また新たな船出にふさわしい姿となりました。

ボランティア宿泊研修

４月１６日、１７日にボランティア宿泊研修を行いました。３９名の方々が参加され、今年一年間の安全作業のため再訓練をしました。

総帆展帆①、②、③

☆総帆展帆①
４月２４日は、強風のため一部の縦帆のみの展帆としました。

◇天候　曇　　◇参加人数　６３名
◇展帆状態　　ｱｳﾀｰｼﾞﾌﾞ、ｲﾝﾅｰｼﾞﾌﾞ、ﾒｲﾝ・ﾐｽﾞﾝﾄｯﾌﾟﾏｽﾄｽﾃｲｽﾙ、ｼﾞｶﾞｰｽﾃｲｽﾙ 計5枚　ﾎﾟｰﾄﾀｯｸ

☆総帆展帆②
５月４日は晴天でしたが、ボランティア参加を予定していた人数が少なかったため、ミズンマストの横帆の展帆は行いませんでした。
ゴールデンウィークということもあり、多くの方が見学・乗船していました。
◇天候　晴　　◇参加人数　６８名
◇展帆状態　　ﾐｽﾞﾝﾏｽﾄの横帆・ｶﾞﾌﾄｯﾌﾟｽﾙ・ｽﾊﾟﾝｶｰを除く21枚　ﾎﾟｰﾄﾀｯｸｽｸｴｱ

☆総帆展帆③
６月５日（日）天気に恵まれましたが、ボランティア参加人数が十分ではなかったため、残念ながら各マストのコースを展帆することはできませんでした。

◇天候　晴　　◇参加人数　５６名
◇展帆状態　ｺｰｽ3枚を除く26枚　ｽﾀｰﾎﾞｰﾄﾞﾀｯｸ ｽｸｴｱ

東日本大震災募金

5/3～5/5の3日間、海王丸パークでは東日本大震災の募金活動を実施しました。
皆さまのおかげで、241,591円の募金が集まりました。この募金は、日本赤十字社を通して、被災者の皆様のために使われます。

新ボランティア紹介！

７月までに次の方々が仲間に加わりました。どうぞよろしくお願いします。

前崎　定男　（まえさき　さだお）さん
☆石田　祐太郎（いしだ　ゆうたろう）さん
☆鶴山　達也　（つるやま　たつや）さん
☆土屋　秀生　（つちや　ひでお）さん
☆田中　布美恵（たなか　ふみえ）さん
☆山田　佑花　（やまだ　ゆうか）さん
☆矢橋　　鮎　（やはし　あゆ）さん
☆渡辺　千尋　（わたなべ　ちひろ）さん
☆岩城　龍馬　（いわき　りょうま）さん
☆ハツ橋　拓海（やつはし　たくみ）さん
☆三箇　舞子　（さんが　まいこ）さん
☆松井　美佳　（まつい　みか）さん
☆は富山高等専門学校生

富山高専との合同実習訓練

毎年実施している富山高専国際ビジネス科４年生１３名の海王丸実習が４月から５月にかけて行われました。天候に恵まれず１、２回目は雨。３回目にマスト登りを行いました。回を追うごとに目の輝きが変わりました。中から２名がボランティアに登録されました。

７月～９月の行事予定

総帆展帆⑤、⑥、⑦、⑧

日時：　⑤　７月１８日（祝）
　　⑥　７月３１日（日）
　　⑦　８月２８日（日）
　　⑧　９月１８日（日）
　　午前１０時～（受付は９時から）
場所：　更衣　日本海交流センター
　　集合　海王丸第一教室

登檣礼

今年も海の日（７月１８日）を記念して、帆船の最高儀礼である**登檣礼（とうしょうれい）**の実施を予定しています。海の日を盛大にお祝いするために、多くのみなさんの参加をお願いします。
なお、登檣礼の立付（練習）を次の日程で行います。**立付に参加された方で実施予定です。**

登檣礼立付
日　時：　７月　３日（日）１３：００～
集合場所：海王丸第一教室

パークフェスティバル

海の日にちなみ、海や船に親しんでもらうイベント、パークフェスティバルを開催します。
期間：７月１６日（土）～１８日（祝）
※詳細は当財団ＨＰをご覧ください。

夜間公開（新湊まつり）

新湊花火大会が行われる７月３１日（日）海王丸の夜間公開（最上甲板のみ）を行います。海の貴婦人から夜空に広がる光のアートをご覧いただけます。

夜間公開：７月３１日（日）　１８：００～２１：００

秋のファミリーフェスティバル

ファミリーフェスティバルを開催します。
期間：９月１７日（土）～１９日（祝）
内容：カッター・セイリング教室（９／１７）
　　総帆展帆（９／１８）

ボランティア掲示板

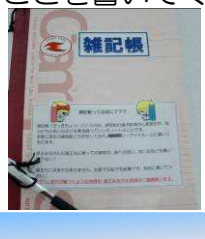
＜ボランティアのみなさんへ＞

展帆のボランティア参加人数が減ってきていて、総帆を展帆できない状態が続いています。もし、友人・お知り合いに、しばらく来られてない展帆ボランティア方がおられましたら、お声かけお願いします！

海王丸は皆さんの力が必要です！！！

海王丸の甲板(かんぱん)から

このコーナーでは、海王丸で起きた小さな出来事を紹介していきたいと思っています。
今回は“**雑記帳**”です。今年の３月の終わりから海王丸の第一教室に雑記帳を置きました。最初は、どんなことが書かれるのか不安の方が大きかったのですが、海王丸に乗船された方々がとても良いことを書いてくださいました。
１冊目のノートも終わりました。この雑記帳は、海王丸に欠かせないものとなっています。



あとがき

海洋教室で忙しい時期になってきました。今年度から、海洋教室の活動で子供たちにプレゼントするシールのデザインを一新しました。ニャンコのキャラクターのシールです。子供たちには大好評です。海洋教室から、未来の船乗りが生まれるかもしれません。もっともっと工夫して、子供たちが成長し、満足できる海洋教室にしていきたいと思っています。

（ヨシマル）

舵輪　第１２６号
発行日　２０１１年　７月
E-mail
by-the-wind@
kaiwomaru.jp

(財)伏木富山港・海王丸財団
〒９３４－００２３　富山県射水市海王町８番地
ＴＥＬ　０７６６－８２－５１８１
ＦＡＸ　０７６６－８２－５１９７
ＵＲＬ　http://www.kaiwomaru.jp